

初動を迷わず行うための、民事弁護マニュアル



このたび、「若手弁護士のための民事弁護 初動対応の実務」と題する書籍を日本能率協会マネジメントセンター様から上梓させていただきました。

7月上旬には、Amazon 書籍ランキング・ビジネス法入門カテゴリにて、ベストセラー1位となるなど、好評を頂いております。

本書は「若手弁護士のための民事弁護マニュアル」というコンセプトで作成し、法律相談、訴訟、解決までを時系列に沿った各プロセスの方針選択と、懲戒の対象となりうる行為の留意点を解説しております。

相談前になかなか時間が取れない方も、即座に確認でき、初動を迷わず行えるような内容をまとめております。民事訴訟対策として、是非ご一読下さい。

【目次】

Part 1 民事弁護の心構え

- Chapter 1 本章の目的
- Chapter 2 民事弁護における弁護士の役割
- Chapter 3 民事弁護において必要とされる技術・能力
- Chapter 4 弁護士としての成長過程

Part 2 訴訟前における留意点

- Chapter 1 訴訟前における留意点
- Chapter 2 法律相談
- Chapter 3 方針選択
- Chapter 4 示談交渉
- Chapter 5 ADR / 調停
- Chapter 6 民事保全

Part 3 訴訟における留意点

- Chapter 1 本章の目的
- Chapter 2 総論
- Chapter 3 第一審
- Chapter 4 控訴審
- Chapter 5 上告審

Part 4 訴訟後における留意点

- Chapter 1 本章の目的
- Chapter 2 強制執行・担保権の実行
- Chapter 3 訴訟費用額確定処分
- Chapter 4 精算等

Part 5 懲戒手続における留意点

- Chapter 1 本章の目的
- Chapter 2 懲戒制度の概要
- Chapter 3 懲戒事例の分類と予防策